



大貫隆久議員

危機管理課が設置されて3年が経過するが、これまでの取組事業への対応を振り返り、評価は。危機管理部署と事業部署との役割所轄部署不明事業の明確化、マスコミへの情報提供、県や国に対する支援要請の訓練など、どのように行っているのか。本市においても強毒型の新型インフルエンザを想定した業務継続計画を策定すべきと考えるが。

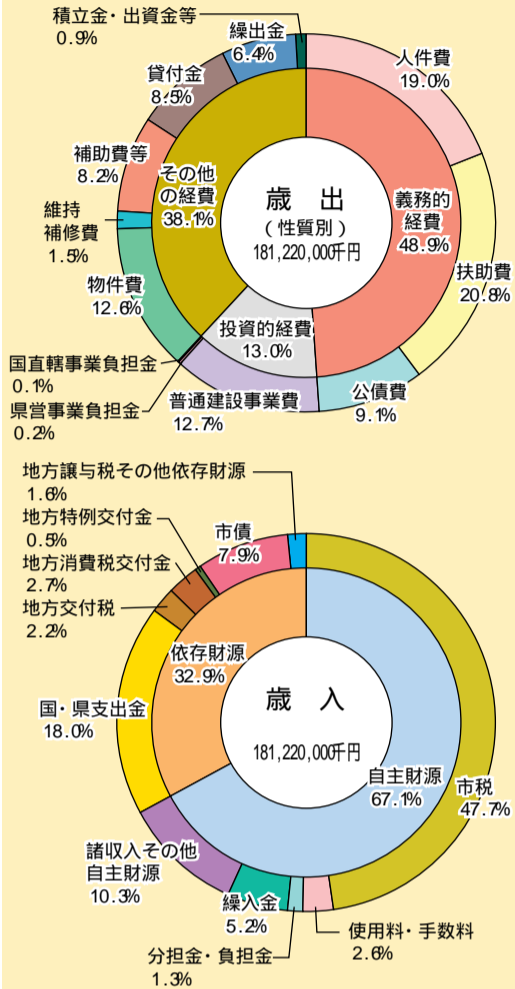
佐藤市長 市としての迅速な意思決定や応急対応のための体制の構築ができるようになり、被害の未然防止や拡大防止に結びついている。また、正確な情報提供、「国・県・市災害対策連絡協議会」による合同訓練の実施など、緊密な連携確保に取り組んでおり、今後とも危機対応力の向上を図り、市民の安全・安心を確保していく。強毒型の新型インフルエンザ対策については、来年度、業務継続計画を策

定し、体制の確保を図っていく。
 その他の質問項目
 市長の政治姿勢について
 マニフェストについて
 外国人参政権について
 夫婦別姓について
 職員の服務規律について
 宇都宮市北東部地域の観光振興について
 氏家大橋下のイベント広場への熱気球大会誘致について
 環境行政について
 ごみ減量目標について

平成22年度予算可決

一般会計 1,812億円

前年度当初比 6.8%増



宇都宮市議会は三月定例会最終日の25日、本会議を開き、来年度一般会計予算など51件を原案通り可決しました。
 来年度一般会計予算は、前年度当初比6.8%増の1,812億円。健全な財政運営等に配

慮しながらも景気対策や市民生活の向上を求めた、自民党議員会の要望を反映したものとなりました。
 自民党議員会では、来年度予算の迅速かつ適切な執行と市民生活への配慮を求めていきます。

市民の声

市民の方から本紙をはじめとする当会の活動等に関する数多くのご意見・ご要望等が寄せられています。下記にその一部をご紹介します。

男性

民主党は、今国会で外国人参政権の法案を通そうとしています。他にもいろいろあるようですが、テレビ報道などもされないまま、ほとんどの国民が知らされないまま、実現しようとしています。このことに強い憤りを感じます。

男性

民主党の子ども手当に所得制限を付けないことに絶対反対です。本当に必要な人に税金を使うべきです。また、国民年金を削られた60歳以上の仕事もない高齢者はどう生きていけばいいのですか。もっと弱者に目を向けるべきです。

男性

- ・議員は視察研修に行っているが、どのように活かしているのか。
- ・先進地の観光事業などをもっと活かしていただきたい。
- ・宇都宮市の魅力は何か？それを考えている議員はいるのか。

- ・今後、道州制になったことを考えると、州都を取るつもりで政令都市を目指して行くべきだ。
- ・民主党のリーダーの政治と金の問題は、一般の国民の感覚からずれていて、呆れてものが言えない状況だ。
- ・議員定数を大幅に削減してほしい。

男性

- ・湯西川ダムは、88億円もかけて、水害被害は今後あるのか。これだけの金額は、有事の際に使った方がいいと思うがどうか。
- ・前回の広報誌の「市民の声」で、市の職員のタイムカードの件があったが、無いというのはどういうことか。民間企業では絶対にあり得ないと思うがいかがか。
- ・議員の給料は日給にしたらどうか。

男性

- ・水があまっているから湯西川ダムは必要ない。
- ・城址公園も必要ない。ただの広場でいい。

男性

- ・水確保(ダム)もいけれども、CO₂・水資源を考えるなら、森林確保に努め、市民の協力を得て、井戸の普及、河川の重要性を考えてください。

男性

- ・前回の広報誌で平出工業団地の産廃施設について、デモ反対の意見があったが、峰地区連合会として反対しているのでは、やみくもに反対しているわけではない。

男性

- ・自民党のLRT先送り要請について
 「将来持続可能なまちづくりにふさわしい社会資本の整備として必要」と前提されている根拠となる声の出所と考え方を知りたいです。今年の初め、消防の出初式で大通りが車線を減らただけで、交通量の少ない時期に、警察の全面的誘導があったにもかかわらず、街中は渋滞でした。こんな事が毎日続いたら中心街の過疎化はますます進むことになるでしょう。実は市民はLRTを必要としていないと思うのですが内容のあるお返事をお待ちしています。

男性

- ・新聞折り込みの「夢・うつのみや」で見ました。なぜ「LRT」が必要なのかよくわからない。「バス」事業の整備のほうがいいのでは？
 理由としては、「バス」のほうが圧倒的に小回りがきき、狭い道

でも入っていきける。したがって、あちこちに停留所を設けることができLRTの駅から遠い人、歩くのが困難な方に対し全然便利で「使える」インフラになると思う。実家の方では「マイクロ・バス」も運用していて、停留所があちこちにあり運行間隔も比較的多い。私の老親はこれを利用しておおむねどこでも行ってしまふ。まさにタクシーがわりになり、タクシー会社に勤務する方々には申し訳ないが、市民のメリットは圧倒的だと思うが。なぜLRTなのか教えてほしい。「建設業界」「タクシー業界」「新たなシステム運用による天下りの確保」などどうしても考えてしまう。「宇都宮」の箱物事業は有名で、LRT事業を実現したら、また全国の皆さんから笑われるのか？市民として恥ずかしいのだが。

「市民の声」に対して、電話の方の場合は、議員が対応しております。また、文書等の場合、状況に応じて回答しています。
 今後とも、多くのご意見・ご要望をお寄せいただきたいと思います。